



統計スポット情報

No. 9

9. 12. 26 福井県総務部情報政策課

平成7年度の経済成長率 名目0.6%減、実質0.1%増

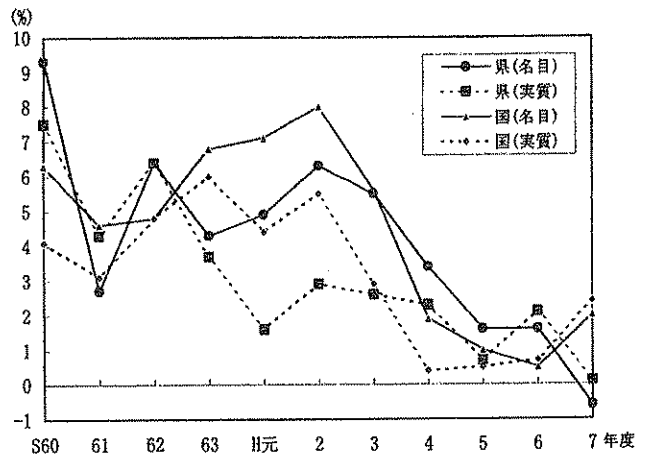
今回は、「平成7年度 福井県民経済計算の概要」を御紹介します。

○経済成長率

平成7年度の福井県の経済は、急激な円高による輸出不振等の影響を受け、それまでの回復基調から、一転して実質横ばいの状態で推移しました。この結果、7年度の県内総生産額は、名目で3兆1,077億円、実質で2兆9,698億円、経済成長率は、名目で0.6%減、実質で0.1%増となりました。

一方、国内総生産額は名目で488兆5,225億円、実質で466兆8,550億円、経済成長率は、名目で2.0%増、実質で2.4%増で、県よりも高い伸びとなっています。(図1) ※実質は、名目から物価の変動分を除いたものです。

図1 経済成長率の推移



○県内総生産の内訳

県内総生産の動きを産業別に前年度と比べると、農業は米について、低温・日照不足から収穫量が減少したことに加え、余剰の増加から価格が大幅に下落をしたため、25.6%減と大きな減少になっています。一方、農業以外の産業は、横ばいに近い状態で推移しています。このうち、製造業は、円高の影響でめがねや合成繊維が減少したため0.6%減、電気・ガス・水道業は、原子力発電が堅調だったものの、火力発電が減少したため0.2%減、運輸・通信業は、自動車・携帯電話サービス契約数の増加やPHSサービスの開始により3.3%増などとなっています。(表)

また、構成比別で見ると、製造業のウエイトが最も高く、次いで電気・ガス・水道業、サービス業の順に続いています。(図2)

表 経済活動別県内総生産

| 項目 | 県内総生産額 (億円) | 増加率 (%) | 構成比 (%) |
|--------------------|-------------|---------|---------|
| 1. 産業 | 28,595 | -0.5 | 92.0 |
| (1) 農業 | 424 | -25.6 | 1.4 |
| (2) 林業 | 40 | -9.5 | 0.1 |
| (3) 水産業 | 83 | -2.2 | 0.3 |
| (4) 鉱業 | 58 | -2.3 | 0.2 |
| (5) 製造業 | 7,315 | -0.6 | 23.5 |
| (6) 建設業 | 2,895 | -0.5 | 9.3 |
| (7) 電気・ガス・水道業 | 4,421 | -0.2 | 14.2 |
| (8) 卸売・小売業 | 3,833 | -0.8 | 12.3 |
| (9) 金融・保険業 | 1,352 | -2.8 | 4.3 |
| (10) 不動産業 | 2,706 | 2.3 | 8.7 |
| (11) 運輸・通信業 | 1,548 | 3.3 | 5.0 |
| (12) サービス業 | 3,919 | 0.6 | 12.6 |
| 2. 政府サービス生産者 | 2,859 | 3.0 | 9.2 |
| 3. 対家計民間非営利サービス生産者 | 736 | 4.1 | 2.4 |
| 小計 | 32,190 | -0.1 | 103.6 |
| 輸入税 | 12 | 16.6 | 0.0 |
| (控除) その他 | 121 | 16.2 | 0.4 |
| (控除) 帰属利子 | 1,005 | 12.7 | 3.2 |
| 合計 | 31,077 | -0.6 | 100.0 |

図2 県内総生産額の構成比

